

2021年8月18日

報道関係者各位

「巨大映像で迫る五大絵師」 上映作品 特別公開 実物だけが持つ迫力を箱根で体験！

開催期間：2021年10月2日（土）～ 2022年2月27日（日）

岡田美術館（館長・小林 忠）は、現在大手町で開催中のデジタルアート展「巨大映像で迫る五大絵師 —北斎・広重・宗達・光琳・若冲の世界—」（主催株式会社フジール、他）にて上映されている当館収蔵作品6件を、2021年10月2日（土）から2022年2月27日（日）まで特別公開いたします。

「巨大映像で迫る五大絵師」は、江戸時代の絵師たちの情熱と想像力が込められた浮世絵や金屏風などの歴史的作品の数々が、超高精細な映像と音楽を組み合わせたデジタルアートとして蘇る、新感覚のアートエキシビションです。当館収蔵の作品からは、尾形光琳「菊凶屏風」、「平家物語凶屏風」をはじめとする6件が上映されています。

この度の特別公開は、3面ワイド総延長45mの巨大スクリーンに映し出される作品のディテールや、絵の世界に入り込んだかのようなダイナミックな演出に圧倒された後、箱根にて実際の作品をお楽しみいただける貴重な機会です。数百年の時を経てなお輝きを放つ金箔や岩絵具の色の美しさ、限られた画面に描き込まれた緻密な表現や、作品の放つ存在感など、実物でこそ得られる新たな発見と感動をご体験いただけます。



①デジタルアート展「巨大映像で迫る五大絵師」会場イメージ

巨大映像鑑賞後は、実物だけが持つ迫力を箱根で体験！

全12巻という壮大な物語を描いた「平家物語図屏風」には実に800人もの人物が描かれ、描写密度が極めて高いことから、「巨大映像で迫る五大絵師」の中で最も長く紹介されています。尾形光琳「菊図屏風」は、琳派ならではの装飾性と菊の花の写実性とが融合した屏風で、胡粉を盛り上げて立体的に表した花卉を巨大映像で間近にご覧いただけます。そのほかにも「二条城行幸図屏風」、「鞍馬・巖島図屏風」、尾形光琳「雪松群禽図屏風」、狩野邦信「源氏物語図屏風」が上映されており、これら全6件の作品を当館で特別に展示いたします。実物大の緻密さや繊細さ、角度や距離による様々な表情を楽しめるのは、美術館ならではの体験です。巨大映像と併せてお楽しみいただくことで、美術館での鑑賞も新鮮に感じられ、新たな魅力が見つかることでしょう。



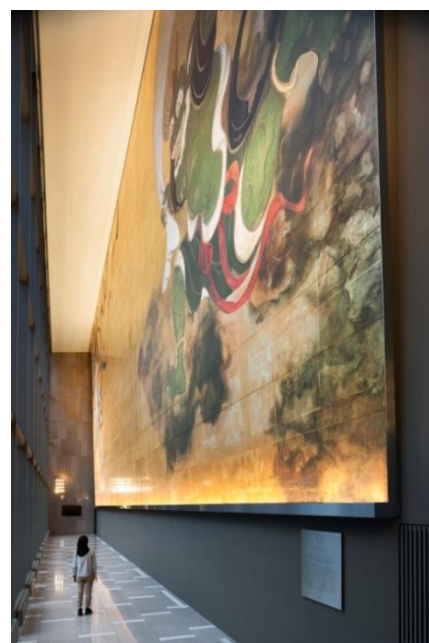
②_a 会場風景



②_b 会場風景

「風神雷神図」が、巨大映像そのままのスケールで見られる！

「巨大映像で迫る五大絵師」では、俵屋宗達の国宝「風神雷神図屏風」(大本山 建仁寺蔵)、それをもとに描かれた尾形光琳の重要文化財「風神雷神図屏風」(東京国立博物館蔵)が紹介されています。当館では、宗達の「風神雷神図屏風」をもとに現代日本画家・福井江太郎が描いた縦12m、横30mにも及ぶ大壁画「風・刻(かぜ・とき)」が正面を飾っています。江戸時代から名だたる絵師たちに描き継がれてきた風神・雷神を、巨大映像そのままのスケールで見られる特別な空間となっています。



(写真 太田拓実)

③ 福井江太郎「風・刻」 2013年

展示作品一覧

3階 <The SAMURAI -サムライと美の世界- >



④「平家物語図屏風」 江戸時代前期 17世紀中頃



⑤「二条城行幸図屏風」 江戸時代前期 17世紀

4階 <金屏風コーナー>



⑥尾形光琳「菊図屏風」 江戸時代前期 18世紀初頭 【展示期間：10/2～12/9】



「鞍馬・巖島図屏風」 江戸時代前期 17世紀



⑦尾形光琳「雪松群禽図屏風」 江戸時代前期
18世紀初頭 【展示期間：12/10～2/27】



狩野邦信「源氏物語図屏風」 江戸時代後期 19世紀前半

巨大映像で迫る五大絵師

— 北斎・広重・宗達・光琳・若冲の世界 —

7月16日(金)～9月9日(木)開催 *上映作品が毎日入れ替わるダブルプログラム

会場：大手町三井ホール（東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One 3F）

主催：フジアール、フジテレビジョン、BSフジ、ニッポン放送

本展に関する問い合わせ先：『巨大映像で迫る五大絵師』事務局

03-5520-1914（平日10:00～17:00）

公式ウェブサイト：<http://www.faaj.art>



【開催中の特別展】

東西の日本画 — 大観・春草・松園など —

4月3日(土)～9月26日(日)開催 *会期中休館日なし

本展は、明治から昭和にかけて東京と京都を中心に活躍した画家に焦点を当て、当館が誇る日本画コレクション約50件を一挙公開するものです。横山大観の大作「れいほういちもんじ霊峰一文字」や、上村松園の代表作「しゆくみ汐くみ」、速水御舟による水墨画の傑作「しゆんえんれいか木蓮（春園麗華）」をはじめ、鍋木清方の美人画、村上華岳の観音像など、珠玉の近代日本画が一堂に会します。菱田春草の没後110年にちなみ、春草作品全7件も展示中です。



【次回の特別展】

The SAMURAI — サムライと美の世界 —

10月2日(土)～2022年2月27日(日)開催 *12/31、1/1休館

本展では、頼朝・義経など語り継がれた源氏のヒーローたち、威儀を正して参列する諸大名、凄惨な合戦の様子など「武士を描いた絵」を中心に、渡辺華山、歌川（安藤）広重など「武士階級の画家が描いた絵」や、武家・武芸に関わる屏風など、武士をテーマとする絵画や工芸品を約30件展示します。源頼朝や曾我兄弟ゆかりの箱根神社を山上に戴き、武士の歴史との関わりが深い箱根の土地で、SAMURAIと美の世界を辿ります。



【岡田美術館について】

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。鑑賞後は、飲食施設「開化亭」や、100%源泉かけ流しの足湯カフェでお寛ぎいただけます。



⑧美術館外観

【本件に関するお問い合わせ先】

岡田美術館 広報担当：山口・近森 TEL：0460-87-3931 FAX：0460-87-3934 E-mail：pr@okada-museum.com

広報用画像データ貸出申込書

FAX 0460-87-3934 **E-mail** pr@okada-museum.com (岡田美術館 行)

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- *写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
- *ご使用後2週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
- *web掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
- *作品写真には「岡田美術館蔵」、作者名、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。
スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
- *ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたはFAXでお送りください。校正期間は中3営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- *下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。

プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真No.に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	デジタルアート展「巨大映像で迫る五大絵師」会場イメージ
	2_a	デジタルアート展「巨大映像で迫る五大絵師」会場風景
	2_b	デジタルアート展「巨大映像で迫る五大絵師」会場風景
	3	福井江太郎「風・刻（かぜ・とき）」2013年
	4	「平家物語図屏風」（部分）江戸時代前期 17世紀中頃 岡田美術館蔵
	5	「二条城行幸図屏風」（部分）江戸時代前期 17世紀 岡田美術館蔵
	6	尾形光琳「菊図屏風」（部分）江戸時代前期 18世紀初頭 岡田美術館蔵【展示期間：10/2～12/9】
	7	尾形光琳「雪松群禽図屏風」（部分）江戸時代前期 18世紀初頭 岡田美術館蔵【展示期間：12/10～2/27】
	8	美術館外観

申し込みフォーム *お名刺の添付でも構いません

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 ー		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	放映エリア/ 発行部数	
画像データ 必要期限	年 月 日		